

スクール・コンプライアンス研究執筆要領

平成26年1月1日改訂

1. 原稿は日本語、未発表のものに限る。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りではない。
2. 本誌に投稿できる者は、日本スクール・コンプライアンス学会会員及び紀要編集委員会が特に認めた者とする。
3. 原稿はワープロ等による横書きとし、1頁につき40字×36行設定とする。字数は以下の通りとする（本文の他、表題、氏名、抄録、キーワード、註、図表等の一切を含む）。ただし、紀要編集委員会が特に指定したものについては、この限りでない。
 - (1) 特集論文
16,400字以内とする。
 - (2) 研究論文
16,400字以内とする。
 - (3) 教育・学校運営実践報告
13,000字以内とする。
4. 文字フォントは10.5ポイントとし、日本語はMS明朝、英語はCenturyを使用する。
5. 表題（副題）の後に、日本語の抄録（400字程度）と、論文のキーワード5点をつける。その後、本文を書きはじめる。
6. 文中の大見出し・中見出しは3行とる。
7. 図表がある場合は、本文中に組み込む。図表1枚につき、小さめのものは400字換算、大きめのものは800字換算とする。図表タイトル及び出典は、図表の中ではなく本文中に記載する。図の場合はタイトルを図の下に、表の場合はタイトルを表の上につける。これら図表に係るスペースも、前記制限文字数に含めるものとする。
8. 字詰めは以下の通りとする。
 - (1) 日本語文字・括弧・記号・1桁の算用数字等は全角とする。
 - (2) 2桁以上の算用数字・欧文等は半角とする。
9. 見出しの序数の付け方は以下の通りとする。
 - (1) 順序づけは、I→1→(1)→①→(i)とする。
 - (2) 見出しの序数の後にピリオドはつけず、1マス空ける。

10. 註および引用文献の表記法は、次の通りとする。
 - (1) 本文中に、「…」⁽¹⁾ というように、右肩に4分の1角の大きさの文字で両丸括弧でくくり、註番号を付ける。
 - (2) 論文の場合、①著者、②論文名（一重括弧「○○○」）、③雑誌名（二重括弧『○○○』）、④巻、⑤号、⑥発行年、⑦頁の順で書く。
 - (3) 単行本の場合、①著者、②書名（二重括弧『○○○』）、③発行所、④出版年、⑤頁の順で書く。
11. 原則として、西暦と元号を併記する（例：2013（平成25）年）。
12. 特集論文、研究論文、教育・学校運営実践報告（以下、「論文等」という。）の全てについて、紀要編集委員会による査読を経て掲載の可否を決するものとする。
13. 論文等の原稿は、3部（コピー可）を事務局宛に送付するものとする。但し原稿は返却しない。第一次査読によって再審査あるいは掲載可と判断された場合、再提出する原稿の部数及び電子データの添付については、紀要編集委員会からの指示によるものとする。
14. 論文等の投稿者は、連絡先住所、メールアドレス、電話番号、FAX番号を別紙に記入して添付する。論文中（註を含む）に投稿者名が判明するような記述を行わないこと。
15. 論文等が不採択になった場合の「査読コメント」は、開示していない。
16. 論文等の投稿を希望する会員は、毎年、9月末日までに、氏名、所属、連絡先住所、メールアドレス、電話番号、論文の種別、論文題目を記載の上、事務局宛にメールにて投稿の申込みを行う（必着）。論文等の原稿は、毎年、10月末日までに事務局宛に提出するものとする（必着）。
17. 本誌の編集著作権は、本学会が有するが、編集著作物に掲載された論文等の著作権は、著作者が有する。